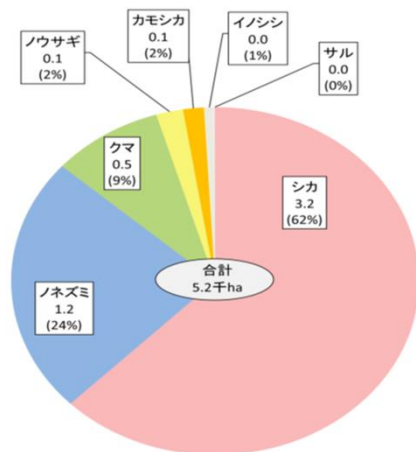


～ニホンジカによる森林被害と対策について～

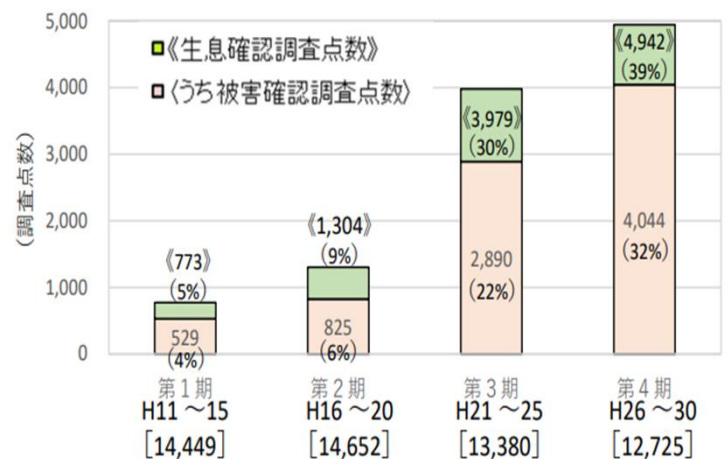
◇全国被害の現状

- 令和5年度の野生鳥獣による森林被害面積のうちシカによる被害は**約6割**を占める。
- シカによる森林の被害は深刻な状況にあり、全国の森林の**約3割**で被害が発生。
- シカの生息分布は1978年以降大きく拡大しており、この40年間で分布域を**約2.7倍に拡大**。
- 環境省の推計では、北海道を除く本州以南には令和4年度末で**約246万頭**のシカが生息しており、依然として高い水準で推移。

■ 主な野生鳥獣による森林被害面積 (令和5年度)



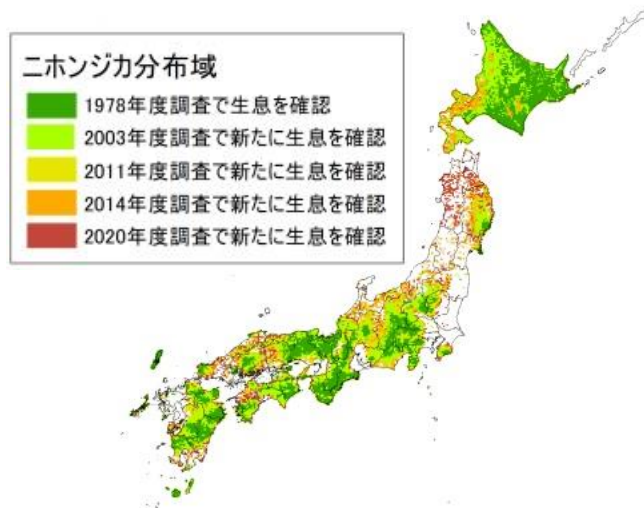
■ シカによる森林被害の状況



※都道府県等からの報告による、民有林及び国有林の被害面積の合計
出典：林野庁HPより

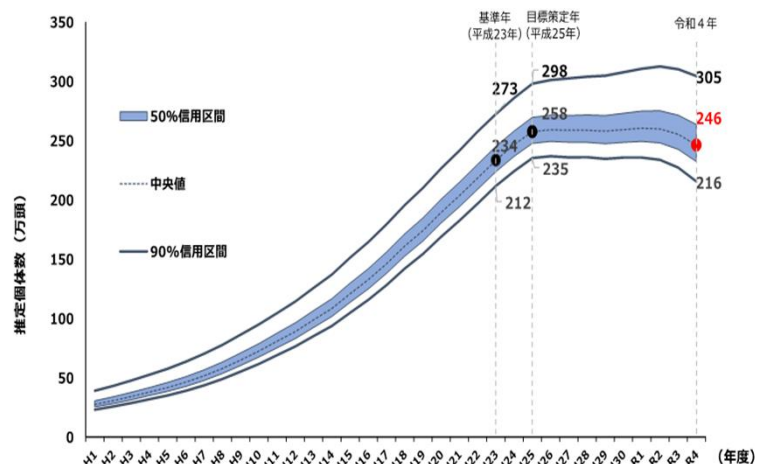
注1：第3期、第4期は、第1期、第2期と調査方法が違うため比較できないことに留意。
注2：[]は総調査点数、()は総調査点数に対する割合。
出典：森林生態系多様性基礎調査

■ ニホンジカの分布状況



出典：令和3年環境省報道発表資料
「全国のニホンジカ及びイノシシの生息分布調査について」

■ ニホンジカの個体数推移況



※令和4(2022)年度の自然増加率の推定値は、中央値1.19(90%信用区間:1.16-1.22)
※令和4(2022)年度の北海道の推定個体数は、東部地域32万頭、北部地域19万頭、中部地域21万頭、南部地域3～18万頭(北海道資料)
出典：環境省資料(令和6年4月)

◇全国各地の被害事例

北海道から九州まで、全国各地でシカによる造林地や自然植生被害が発生しています。

◆樹木の摂食被害



北海道胆振地域
連続した枝葉の食害により盆栽状になったカラマツの植栽木



山梨県富士山周辺
シカの剥皮による植栽木(幼齢木)の枯損

◆下層植生の衰退



三重県雲出川上流域
天然林におけるシカの食害による下層植生の消失(一部表層崩壊)



和歌山県護国山周辺
シカの食害により下層植生がアセビに単一化

◆食害による裸地化



高知県三嶺周辺
シカの食害によりミヤマクサザサが枯死し、裸地化(防護柵内のみ植生が残っている)



三重県大杉谷周辺
人工林におけるシカの食害による無立木地化

出典: 写真は全て林野庁HPより

◇東北森林管理局管内におけるニホンジカによる森林被害状況

東北森林管理局管内のニホンジカによる森林被害は、岩手県の早池峰山、五葉山周辺、宮城県の大鹿半島周辺で発生しています。

シカによる森林被害は、植栽木の食害や剥皮被害による枯死、下層植生の消失による土砂流出など森林の有する公益的機能の発揮に影響を及ぼす可能性があるため早期の対策が必要となります。



H29年撮影



早池峰山

R4年撮影



剥皮被害
(陸前高田市)



天然木の食害
(花巻市)



下層植生の消失
(大鹿半島)

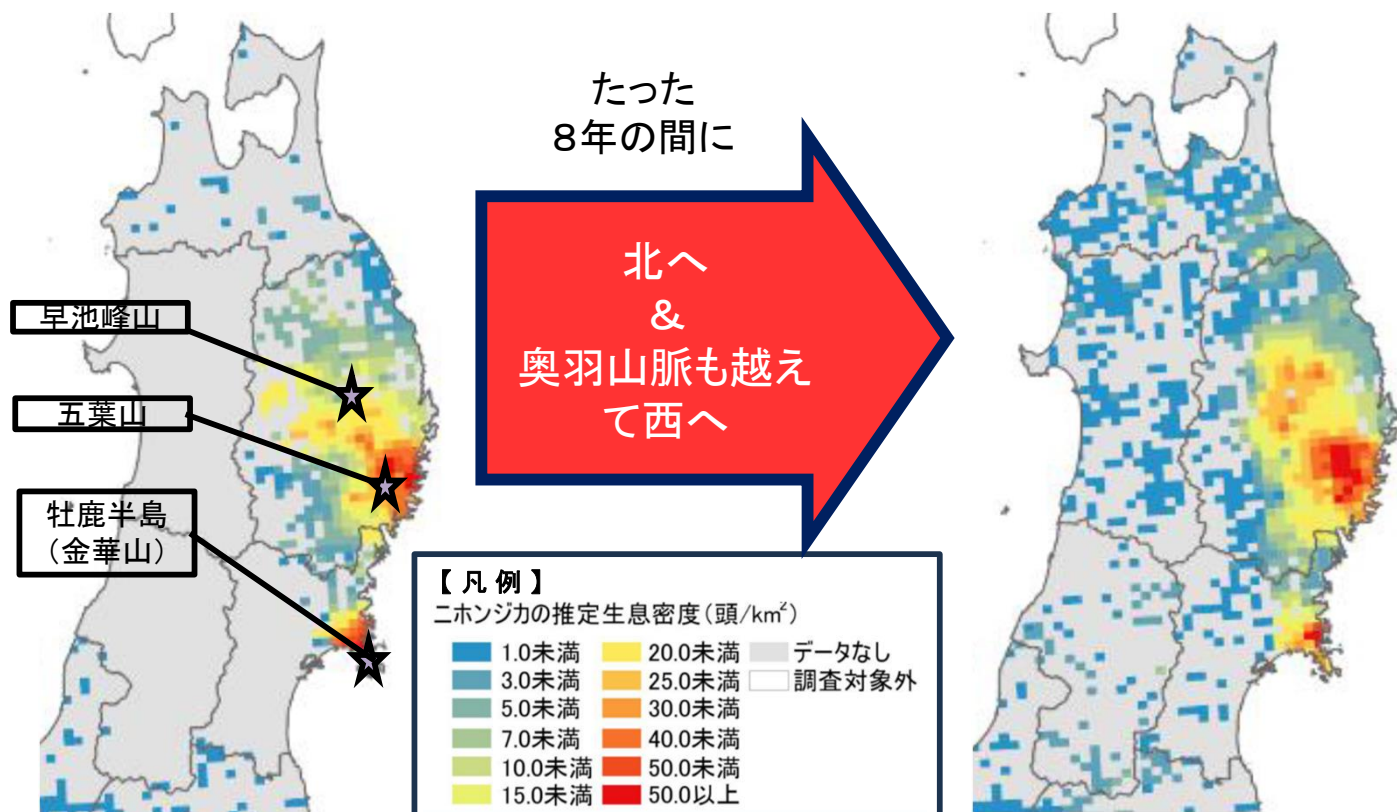


植栽木の食害
(金石市)

◇東北地方のニホンジカの密度

2014年度

2022年度



(出典)生息密度:環境省 https://www.env.go.jp/press/press_02936.html (2024年03月22日 報道発表「本州以南におけるニホンジカの密度分布図(令和4年度当初)の作成について」)

◇東北森林管理局のニホンジカ被害防止対策

東北森林管理局では、ニホンジカの生息密度増加により、農林業被害や生態系への影響が懸念されることから、平成26年度にニホンジカ被害対策検討会を開催し、平成28年度からはニホンジカ対策プロジェクトチームを立ち上げ、有識者から技術的な指導・助言を得ながらニホンジカの被害対策に取り組んでいます。

生息状況・被害状況等のモニタリング

○白神山地世界遺産地域におけるニホンジカ対策

環境省と連携してモニタリング体制を強化し、センサーカメラを周辺に設置して監視にあたっています。さらに、白神山地世界遺産地域科学委員会等を通じて専門家の意見を伺いつつ、必要な対策について関係機関と連携して検討しています。



白神山地世界遺産地域で撮影されたニホンジカ

○朝日山地森林生態系保護地域におけるニホンジカ対策

ニホンジカの侵入・生息状況を把握するためアコースティックレコーダー（咆哮調査）を設置して監視にあたっています。さらに、朝日山地森林生態系保護地域部会等を通じて専門家の意見を伺いつつ、必要な対策について関係機関と連携して検討しています。

○早池峰山周辺森林生態系保護地域におけるニホンジカ対策

ニホンジカの増加に伴い、樹皮剥ぎや下層植生への食痕が見られ高山植物への食害が懸念されることから、ニホンジカの生息状況や行動実態、植生状況の調査を行っています。

さらに、関係機関と連携し有識者等の意見を踏まえながら、必要な対策を実施しています。



シカの糞塊



枯死稈多数のクマイザサ群落



シカの寝痕

被害防止対策の取組

○委託による誘引捕獲

市町村の鳥獣被害対策協議会等と連携を図り、森林被害の軽減を図るため、委託による誘引捕獲を平成27年度から実施して森林の保全に努めています。



わなに掛かったニホンジカ

○林道除雪による捕獲捕獲

岩手県が実施する指定管理鳥獣捕獲等事業を支援するため令和2年に岩手県と三陸北部署、遠野支署が協定を締結し、除雪路線を調整したうえで国有林の林道を除雪しています。



林道の除雪(遠野支署管内)

○自治体等とのわな貸出協定

地域での捕獲対策を推進するため、平成30年から自治体等と協定を締結してわなの貸出を行い、国有林及び周辺地域で捕獲を行い、農林業被害及び生態系被害への防止の取組を行っています。

○早池峰山周辺森林生態系保護地域での防鹿柵の設置

早池峰国定公園内でのニホンジカによる食害から希少植物を保護するため令和元年度に岩手県と三陸北部署、遠野支署が協定を締結して防鹿柵を設置しています。



防鹿柵の設置

○造林地の防除事業

造林地へのシカの侵入を防ぐために防鹿柵の設置、植栽木の食害を防ぐために単木保護、シカ食害対策剤の散布などを行っています。



侵入防止柵



単木保護



シカ食害対策剤の散布

小林式誘引捕獲法の勉強会

三陸北部署、宮城北部署管内で、地元自治体、猟友会、署職員を対象に小林式誘引捕獲法の勉強会を開催しました。

小林式誘引捕獲法とは、林野庁職員（小林正典氏）が考案した捕獲方法で、ニホンシカが餌を食べるときに口元近くに前足を置く習性を利用した手法で、くくりわなの周囲に石や餌をドーナツ状に設置するだけで、初心者でも簡単に捕獲できる手法です。

捕獲効率が向上し、ニホンシカによる森林被害の軽減に繋がることが出来ます。



わなの周りに石を設置



わなの周りに餌をまく



座学の様子
(宮城北部署)



実習の様子
(宮城北部署)



実演の様子
(三陸北部署)

ニホンシカを処理するための大型排水管の設置

遠野市では遠野支署と協定を締結し、国有林内に大型排水管を利用した残渣処理設備を設置しました。

これまで、捕獲した個体の処理は埋設や焼却処分をしてきましたが、これにより捕獲事業者の埋設処理の負担軽減や処理コストを削減することが出来ます。



クマ対策として蓋を設置



捕獲したシカを投入